

ミノキシジル配合外用薬の効果・副作用・服用方法一覧

令和6年12月12日作成
作成者: グリーンベルクリニック事業開発部

1. 医薬品情報

製品名	ミノキシジル配合外用薬5%「FCI」
英語	minoxidil lotion
薬効分類名	毛髪用薬(発毛, 養毛, ふけ, かゆみ止め用薬等)

2. ミノキシジル配合外用薬の効能または効果

壮年性脱毛症における発毛, 育毛及び脱毛(抜け毛)の進行予防

2.1. 効能または効果に関連する注意

- ・毛髪が成長するには時間がかかります。効果がわかるようになるまで少なくとも4か月間、毎日使用してください。本剤の有効性は4か月使用後から認められています。
- ・毛髪が成長する程度には個人差があり、誰にでも効果があるわけではありません。
- ・効果を維持するには継続して使用することが必要で、使用を中止すると徐々に元に戻ります。(本剤は壮年性脱毛症の原因を取り除くものではありません。)

3. ミノキシジル配合外用薬の用法・用量

成人男性(20歳以上)が、1日2回、1回1mLを脱毛している頭皮に塗布する。

3.1. 用法及び用量に関連する注意

- ・用法・用量の範囲より多量に使用しても、あるいは頻繁に使用しても効果はあがりません。定められた用法・用量を厳守してください。(決められた以上に多く使用しても、効果の増加はほとんどなく、副作用の発現する可能性が高くなります。)
- ・目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- ・薬液のついた手で、目などの粘膜にふれると刺激があるので、手についた薬液はよく洗い落としてください。
- ・アルコールなどに溶けるおそれのあるもの(メガネわく、化学繊維等)にはつかないようにしてください。
- ・整髪料及びヘアセットスプレーは、本剤を使用した後に使用してください。
- ・染毛剤(ヘアカラー、毛染め、白髪染め等)を使用する場合には、完全に染毛を終えた後に本剤を使用してください。

4. ミノキシジル配合外用薬の副作用

使用後、次の症状が現れた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	頭皮の発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、ふけ、使用部位の熱感など
精神神経系	頭痛、気が遠くなる、めまい
循環器	胸の痛み、心拍が速くなる
代謝系	原因の分からない急激な体重増加、手足のむくみ

5. 警告

- ・本剤は頭皮にのみ使用し、内服しないでください。(血圧が下がる等のおそれがあります。)
- ・きず、湿疹あるいは炎症(発赤)等がある頭皮。(きず等を悪化させることがあります。)
- ・本剤を使用する場合は、他の育毛剤及び外用剤(軟膏、液剤等)の頭皮への使用は、さけてください。また、これらを使用する場合は本剤の使用を中止してください。

6. 禁忌(服用してはいけない人)

- ・本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- ・女性。(本剤は日本人女性における安全性が確認されていない。)
- ・未成年者(20歳未満)。(国内での使用経験がありません。)
- ・壮年性脱毛症以外の脱毛症の人、あるいは原因のわからない脱毛症の人。(本剤は壮年性脱毛症でのみ有効です。)
- ・脱毛が急激であったり、髪が斑状に抜けている人(壮年性脱毛症以外の脱毛症である可能性が高い。)

7. 相談すること

次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- ・今までに薬や化粧品などによりアレルギー症状(例えば、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
- ・高血圧の人、低血圧の人。(本剤は血圧に影響を及ぼす可能性が考えられます。)
- ・心臓又は腎臓に障害のある人。(本剤は心臓や腎臓に影響を及ぼす可能性が考えられます。)
- ・むくみのある人。(むくみを増強させる可能性が考えられます。)
- ・家族、兄弟姉妹に壮年性脱毛症の人がいない人。(壮年性脱毛症の発症には遺伝的要因が大きいと考えられます。)
- ・高齢者(65歳以上)。
- ・甲状腺機能障害(甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症)の診断を受けている人。(甲状腺疾患による脱毛の可能性あります。)

◆ミノキシジルに関連する記事

ミノキシジルを通販で購入できるサイト! 効果・副作用を解説!

◆引用元

ミノキシジル配合外用薬5%「FCI」(https://www.info.pmda.go.jp/ogo/K1906000022_01_01)